

ソフトウェアバージョンアップについて

KW2D形 スマートRFIDリーダ

KW2D形スマートRFIDリーダの機能追加と仕様変更についてご案内いたします。

実施時期

2020年12月25日

対象製品

KW2D形設定ツール KW RFID Configurator

※KW2D形スマートRFIDリーダ用設定ツール（ソフトウェア）のバージョンアップをおこないます。

KW RFID Configurator V1.0.0 ⇒ KW RFID Configurator **V1.1.0**

実施方法

弊社ホームページより「KW2D形 設定ツール KW RFID Configurator (V1.1.0)」がダウンロードできます。本ソフトウェアにより、KW2D形本体のシステムソフトウェアのバージョンもV1.1.0に書き換えられます。

※下記リンク先のページ下「ダウンロードはこちら」よりダウンロードいただけます。

https://jp.idec.com/idec-jp/ja/JPY/スイッチ/スマートRFIDリーダ/ø22-KW2D形-スマートRFIDリーダ/c/KW2D_Series

機能追加

通信プロトコルとして EtherNet/IP アダプタおよび CC-Link IE Field Basic スレーブに対応しました。コネクション設定の通信モードで、ModbusTCP サーバーに代えて、EtherNet/IP アダプタまたは、CC-Link IE Field Basic スレーブを選択できます。（図 1）

ネットワーク設定

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 50

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ: 0 . 0 . 0 . 0

コネクション設定

ポート番号	通信モード	アクセス	アクセス許可するIPアドレス
502	ModbusTCPサーバー	<input type="checkbox"/> 制限する	
503	ModbusTCPサーバー	<input type="checkbox"/> 制限する	
504	EtherNet/IPアダプタ	<input type="checkbox"/> 制限する	
	CC-Link IE Field Basicスレーブ	<input type="checkbox"/> 制限する	
2101	メンテナンス通信サーバー		
2102	未使用		

パスワード設定

ダウンロード パスワード: [ダウンロード パスワード] [ダウンロード パスワード(確認用)]

アップロード パスワード: [アップロード パスワード] [アップロード パスワード(確認用)]

図 1 KW RFID Configurator の通信モード選択

● EDS ファイル、CSP ファイルの入手方法

KW2D 形スマート RFID リーダの EDS ファイル（EtherNet/IP 用）および CSP ファイル（CC-Link IE Field Basic 用）は、KW2D 形設定ツールのダウンロードリンク先に掲載しております。

仕様変更①

入力リレーの0001（照合結果OK）の「タグリストを登録していない場合、RFID タグを検出するとON する」仕様を削除しました（図2）。この変更により、タグリストの登録をし忘れた場合でも入力リレーの0001（照合結果OK）がON することはありません。

なお、タグリストが登録されているかどうかは、入力リレーの0005（タグリスト状態）で、ご確認いただけます。

入力リレー（100001～100032）

ビット単位で読み出すことができます。

02：入力リレーの状態読み出し（100001～100032）

入力リレー (10****)	内容	説明	R/W	初期値
0001*1	照合結果OK	タグリストを登録している場合、照合結果が一致するとON します。 タグリストを登録していない場合、RFIDタグを検出するとON します。	R	0
0002*1	照合結果NG	RFIDタグの照合結果がNGの場合にON します。	R	0
0003	502ポートの通信状態	Modbus TCPサーバー（ポート番号：502）の通信状態を示します。 0：通信あり、1：通信なし	R	0
0004	RFIDリーダ設定状態	KW2D形RFIDリーダに基本設定（プロジェクト）があるかどうかを示します。 0：設定あり、1：設定なし	R	0
0005	タグリスト状態	KW2D形RFIDリーダにタグリストがあるかどうかを示します。 0：タグリストあり、1：タグリストなし	R	0

図2 入力リレーの割り付け（ユーザーズマニュアル抜粋）

仕様変更②

ブザー手動操作を有効にし、ブザーをON したときのブザーの音色を、タグ検出時のブザー音と同等の音色になるように変更しました。（図3）

ブザー・LED をリモートコントロールする

コイルリレーでブザーやLED をコントロールする方法を説明します。

コイルリレー（0009、0011、0013、0015）で、「手動操作有効」にすると、手でLED とブザーをON/OFF できます。なお、KW RFID Configurator の [RFID リーダ設定] タブで、[LED を使用する] または [ブザーを使用する] のチェックボックスをオフにした場合、コイルリレー（0009、0011、0013、0015）の値にかかわらず、手動操作有効になります。

コイルリレーの設定内容は、次のとおりです。

コイルリレー

コイルリレー (00****)	内容	説明	R/W	初期値
0009	ブザー手動操作有効	ブザーをコントロールします。 0：ブザー手動操作無効、1：ブザー手動操作有効	R/W	0
0010	ブザーをON/OFF	ブザーをON/OFF します。 0：ブザーをOFF、1：ブザーをON	R/W	0
0011	LED（赤）手動操作有効	LED（赤）をコントロールします。 0：LED（赤）手動操作無効、1：LED（赤）手動操作有効	R/W	0
0013	LED（赤）をON/OFF	LED（赤）をON/OFF します。	R/W	0

図3 コイルリレーの割り付け（ユーザーズマニュアル抜粋）

バージョン確認手順

ご使用いただいているKW RFID Configurator のバージョンおよびシステムソフトウェアバージョンは、メニューバーのヘルプ→バージョンでご確認いただけます。（図4）

また、KW2D 形本体のシステムソフトウェアのバージョンは、設定ツールのモニタ機能で本体と接続することによりご確認いただけます。（図5）

なお、KW RFID Configurator V1.1.0 で、V1.0.0 のKW2D 形本体に設定をダウンロードするとシステムソフトウェアも同時に書き換えられます。

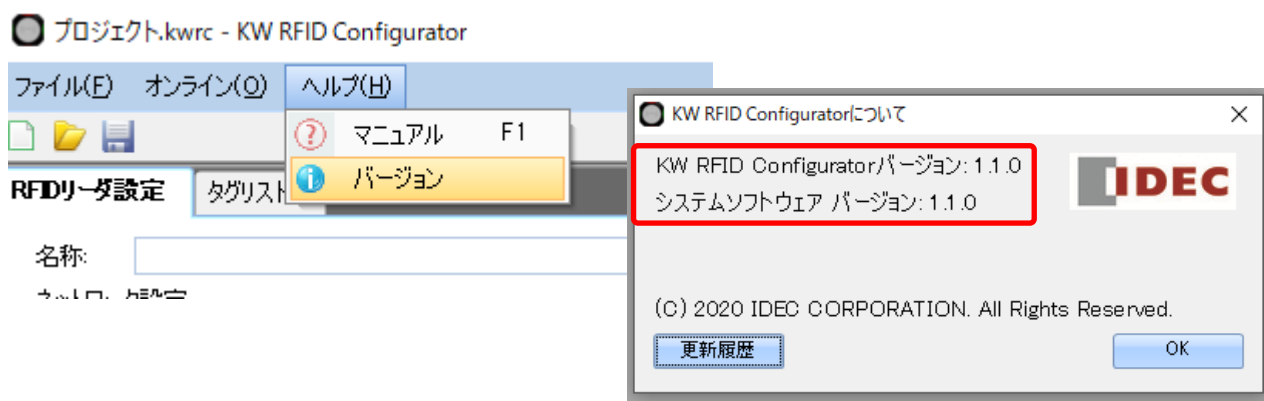


図4 KW RFID Configurator のバージョン情報



図5 設定ツールのモニタ画面